



いいで町

156号

議会だより

30 平成26年度30歳の成人式 in 飯豊



家族・地域・ふるさとに思いをよせて（30歳の成人式）

12月議会（第13回定例会）

30歳の成人式は県内2例目であり、全国で10例目です。

- 年頭のごあいさつ…………… P 2
- 概要・条例・請願…………… P 3
- 一般質問…………… P 4
- 補正予算…………… P 5
- みなさんと語る会…………… P 6～11
- 各常任委員会…………… P 12～13
- 臨時会…………… P 14
- 議員研修…………… P 15
- 一部事務組會議会報告・編集後記…………… P 16



年頭のごあいさつ

議長 中村 仁一

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、集中豪雨による土砂災害で、避難勧告や避難指示が出され、防災体制の強化が必要と思われました。

また、水稲単作地である本町にとっては、米価下落が大きな打撃であり、議会としても利子補給等の早急な対策を議決いたしました。さらに、町独自の支援を働きかけていきます。

「みなさんと語る会」の開催も5回目となり、多くの皆様に参加いただきました。ご意見ご要望については、早めに取りまとめ町側とともに、課題解決に向け着実に進めていきます。

昨年10月の臨時会で議決した、山形大学「蓄電デバイス開発研究センター」の整備事業については、議決責任を踏まえ附帯決議をつけました。今後、雇用の場として事業化されることを期待しています。

陳情活動では、総務省で過疎債、地方創生の研修を受けてきました。国の27年度予算では「まち・ひと・しごと創生本部」が事業化されます。少子化、人口減少への歯止め策を具現化し、いかに元気になれるかが自治体の責任と重く受けとめています。

数々のアイデアや提案型施策を国に示し、地域の創生につながるように、町とともに進んでまいります。

本年も、若い方々が定住できるまちづくりを心がけ、住みよい町にする覚悟でいます。

今後とも、変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶いたします。

※附帯決議（ふたいけつぎ）

議決された法案・予算案に関して付される案件について、意見や希望などを表明する決議。

第一小改築 23億6千万円

定例会概要

平成26年12月定例会は、12月9日から16日までの8日間開催しました。

一般質問は1人、一般会計及び特別会計合わせ10件の補正予算、条例2件、その他4件を審査し、いずれも全会一致により可決しました。

また、請願1件は、賛成少数により、不採択としました。

新たな条例

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法に基づき、保育事業の運営の基準を定めたもので、特に他市町に保育を依頼する場合の負担等について定めたもの。

改正する条例

◆長寿祝い金支給条例

現条例が、平成27年3月31日で失効することから、引き続き長寿祝い金を支給するもの。

祝い金の額

・満95歳以上97歳以下
毎年1万円

・数え年100歳
その年に限り10万円

請願

◆集团的自衛権行使に反対する意見書提出についての請願

請願者

西置賜革新懇話会

代表世話人

今泉 義憲

審査の結果

賛成少数により不採択としました。

公有財産の取得

◆国民健康保険診療所レントゲン撮影装置の取得

取得財産

日立レントゲン

撮影装置 1式

取得金額 702万円

契約の相手方

東北医療機器㈱

代表取締役

伊藤 順二

工事請負契約の締結

◆飯豊町立第一小学校改築工事

契約金額

23億6088万円

契約の相手方

樋口・那須・高橋

特定建設工事共同企業体

樋口建設㈱

代表取締役

樋口 哲也

◆平成26年度飯豊町
起業支援施設整備事業

契約金額

8748万円

契約の相手方

樋口建設㈱

代表取締役

樋口 哲也



第一小完成予想図

一般質問

学校統合はどう進めるか



鈴木敏夫議員

○小学校の統廃合について

○市場拡大に向けた体制の強化は

○指定管理者制度のあり方は

質問 小学校統廃合は、るのが実態です。

慎重な検討が必要です。 町長、教育委員会の

国は無理に統合せず、考えは。

小規模校の利点を活かし充実させることや、やむを得ず統合する場合

には、通学の負担、学校の地域的意義、住民合意に充分配慮する

という学校統合政策に方針転換をしています。

ところが町では、一方的に統廃合計画を策定し、住民に対して押し付ける形で学校統廃合や、再編を進めてい

統廃合は慎重に

町長 子どもたちの将来を見据え、適正な教育環境を整えていくことが重要です。

学校は地域づくりの大切な拠点であり、地域住民や保護者と十分に話し合い、慎重に検討していきます。

町長 「飯豊農の未来賞」に応募のあった中から、すぐれた企画提案については参考にしていきます。飯豊型水田利活用の一つで、農業施行プランとして取り組むことを検討して

教育委員長 小規模校は、学習指導要領に定められた内容を履修する面での制約が生じがちです。

今後の在り方については、意見交換を重ね、また、関係者の方々の声にしっかり耳を傾けながら、子どもたちにとって、より良い教育環境の在り方を検討していきます。

質問 地場産品の市場拡大に向けた支援体制は。

町長 「飯豊農の未来賞」に応募のあった中から、すぐれた企画提案については参考にしていきます。飯豊型水田利活用の一つで、農業施行プランとして取り組むことを検討して

支援制度を創設

います。

また、本年度から、物産市などで、販売に出向くための支援制度を創設しました。

質問 社会教育施設は、指定管理者制度を導入し運営しているが、問題点と今後の課題は。

指定管理者制度の総括を

教育委員長 平成28年度に指定管理期間が完了することを踏まえ、

27年度に総括を行い、地域住民の「地域拠点」の創造を図ります。



終わらせない大切なものを守る未来のために

平成26年度 各会計補正予算

会計別		歳入歳出予算
一般会計 (12号)		74億1734万円 (841万円の追加補正)
国民健康保険	事業勘定	8億7527万円 (841万円を減額補正)
	直診勘定	1億5104万円 (362万円の追加補正)
後期高齢者医療特別会計		8157万円 (452万円を減額補正)
介護保険特別会計		10億6794万円 (110万円の追加補正)
介護老人保健施設特別会計		3億1599万円 (547万円の追加補正)
物品調達特別会計		1838万円 (22万円の追加補正)
農業集落排水特別会計		6億4251万円 (1597万円を減額補正)
生活排水処理特別会計		8816万円 (124万円の追加補正)
添川財産区特別会計		395万円 (93万円の追加補正)
中津川財産区特別会計		633万円 (2万円の追加補正)

基金取崩、減額へ!!

歳入では町民税(個人)が1770万円、地方交付税530万円、県支出金2096万円の増額、繰入金(財政調整基金)の7000万円の減額が主なものです。

歳出の主なものは、農業経営転換協力金1070万円、畜産生産拡大支援事業890万円、時間外勤務手当340万円などです。



日本一の生産地を目指して

◆ 一般会計補正予算の主な内容

(歳入)

町民税(個人)	1770万円
地方交付税	530万円
農地集積対策事業補助金	1565万円
畜産生産拡大支援事業	890万円
山の幸振興対策支援事業	128万円
財政調整基金繰入金	△7000万円
雑入(置病組合精算金など)	3182万円

(歳出)

税務総務費	107万円
賦課徴収費	100万円
ひとり親家庭等医療費給付費	107万円
農業経営基盤強化促進費	1034万円
道路維持費(除雪費)	671万円
林業総務費	330万円

みなさんと語る会

皆さんの声を 議会活動に

9 地区で開催

平成26年11月7日から28日まで「みなさんと語る会」を9地区で開催しました。

今年も地区協議会長等会及び、部落長等会のご協力をいただきました。

また、議会基本条例を4月1日から施行し、より開かれた議会を目指しており、皆様から多くのご意見、ご要望をいただきました。

出席者は168人で、毎年増加しています。議会の陳情や活動報告だけでなく、各地域の

課題解決にむけて、現地踏査を実施し、状況の把握に努めています。いただいたご意見や

ご指摘は、今後の議会活動に活かし、皆様と身近な議会へと心がけていきます。

また、政策提言として町に提出しました。

なお、各会場でいただいたご意見等を抜粋して掲載し、回答は、議会側の答弁としております。町からの答弁は後日各地区に配布する報告書に記載します。

初の政策提言 町長に

1月16日、町政運営に関し、「みなさんと語る会」で出された意見・要望等をもとに、

常任委員会で検討し、

議員総意として町長に初の政策提言を行いました。

健全な財政運営等、6項目を提言しました。

6項目の政策提言

- 一、健全な財政運営
- 一、幼児施設及び小学校の統廃合
- 一、消防分署の移転新築
- 一、農工商一体的な産業振興
- 一、第6期町介護保険事業計画の十分な検討
- 一、道路・橋梁（きょうりょう）整備促進



町政に反映 議会の提言

みなさんと語る会

世界に羽ばたけ (山大研究センター)

問 特別委員会設置の目的は。

また、学校統合後教育施設等の利活用が必要であり、住民の理解も含め、多くの施策が必要ではないですか。

町有の 遊休地・遊休施設 どう活用



新しい技術を駆使した電池の開発

答 町有の遊休地及び遊休施設の利活用については、広く住民各層の意見を聞くと共に、方向性について調査検討することが大事です。

旧中津川小中学校や、手ノ子の農村環境改善センター等を現地踏査するなど、委員会を5回開催しています。

今後は、飯豊分校の

問 旧和光電気跡地に、山形大学工学部が蓄電池を設置するとのこと。

どんな規模で、雇用に結びつくのですか。

また、町の負担はいくらですか。

山大 研究センターとは

跡地も含め、地元の意見を聞く考えです。いろいろなアイデアをいただくためにも、各地区の利活用検討委員会等と協議をするなど、目的達成に努めます。

答 予算規模は、山大が8億円、町が7億円の合計15億円です。リチウムイオン電池を作るまでの全工程を再現したパイロット工場

問 町負担分7億円の財源内訳はどうなるのですか。更に、残った跡地の活用をどう考えていますか。

(研究所)で、製品の開発から性能評価を行うものです。また、商談のため、現場見学ラインを備えた国内2例目の施設となります。

跡地3万㎡のうち、2500㎡が利用されます。

雇用は初期の段階で事務職若干名と、管理人の数名程度と聞いています。

答 平成26年度に1億円、27年度に6億円が必要で、全て過疎債を充当する予定です。

現在、第一小の改築など、過疎債活用の事業が進行中であり、計画されている事業に影響

がでないよう、議会では附帯決議もしました。

また、国(総務省)に特別の措置をお願いしてきました。

山大側からは、使用料として10年間で合計1億円が入るとのことです。

残地については、順次関連する企業に誘致を働きかけるとのことですが、実現まで、荒廃しないようにしっかりと管理するよう、町に働きかけます。

※過疎債とは

過疎地域自立促進法に基づき、元利償還金の70%が地方交付税に算入される借入金です。

活用するには、過疎計画の策定や、関連条例を整備する必要がありますが、県が配分を決定します。

みなさんと語る会

どうする 米価下落対策

緊急支援を要請

問 米価下落について
どんな陳情を行ったの
ですか。

答 稲作農家が営農意
欲を失うことのないよ
う3項目について陳情
しました。

①米の消費低迷から、
主食用米が市場にダ
ブついているので隔
離対策。

②収入が激減するのを
防ぐため、ナラシ対
策(一種の保険制度)
とナラシ移行(ナラ
シ未加入者)への予
算確保と支援強化。

③この制度の交付要件
緩和と未加入者の救
済体制の構築。
以上についてお願い
してきました。

問 陳情では、戸別所
得補償(1万5千円)
の復活を要望しなかつ
たのですか。

答 また、所得向上につ
ながる施策、小作料の
見直しや売れる米づく
り等ははどうですか。

答 政府は経営所得安
定対策とし、今年は半
額の7500円(10a
当)を交付予定です。

しかし、この制度も
平成29年度までです。
前政権時は、農業関
連予算(土地改良事業)
を削って捻出していた
とのこと。
半額になった分は、
農地・水環境保全事業
等の強化に使用されて
おり、議会としては復
活を要望しませんでし
た。

小作料の改定は、大
規模農家が望むことで
あり、耕作放棄地解消

にも有効と思います。

町では、農業委員会
を中心に改定が進むと
思いますし、人・農地
プランも策定され、優
良農地活用が期待でき
ます。

今後の稲作は、主食
用米だけでなく、加工
米・飼料米・ホールク
ロップサイレージ等で
所得を増すべきです。

どうする

空き家対策

問 町内の空き家の数
はどれくらいあるので
すか。行政の対応だけ
で解決するのですか。

答 町が外観から推測
しましたが、総計18
2件あります。そのう
ち使用可能35件、修繕
して使用可能58件、使
用困難62件、倒壊等の

危険有が27件です。

25年度に条例を制定
し、補助金による支援
をしています。最高額
は40万円。地元業者へ
の依頼で10万円が、上
乗せされる場合もあり
ます。

所有者が特定できな
い物件や、民法上の問
題で町として手をかけ
られない物件もあり、
国の対策も注目しなが
ら、対応したいと思い
ます。



飼料に活用 (ホール・クロップ・サイレージ)

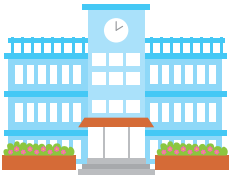
みなさんと語る会

またれる 飯豊分署改築

各学校に 職員を加配

問 インクルーシブ教育を説明して下さい。
現在の町支援員制度ですか。

答 共同生活になじめない子や、障がいを持つ子どもが一緒の教室で共に学ぶ必要があります。町としては、独自に支援員を各学校に1名加配しています。これが、国及び県には理解いただけなのが現状です。



議会は、国で支援員を措置するよう、陳情をしました。

第一小 改築は順調か

問 再入札されるとのこと、予定価格の見直しはあるのですか。工期が延びれば、仮校舎の経費が増えるのでは。また、西側駐車場が広すぎると思います。

答 見直し額は、予定価格で告示されます。工期は平成28年9月末頃になると考えられます。

仮校舎のリース料は月額200万円弱です。また、駐車場については学校行事等があれば、先生方の車を含め200台ぐらいになり、安全確保の必要から妥当と思われれます。

消防飯豊分署は どうにか

問 飯豊分署改築とのことですが、いつ、どこに検討されていますか。さらに、議会報の記事を説明して下さい。各地区から設置の要望がありますか。

答 町が土地を提供し、西置賜行政組合で建てます。耐震性の観点から、平成28年度まで、有利な融資を受けられるので、28年度完成を見込んでいます。

防災センターやヘリポート、除雪機格納庫も含め、7000㎡ほど必要となります。設置要望はありますが、新しい土地を求めずに、遊休町有地の活用を問いかけています。

議会報の記事は、総



新校舎完成までの仮住まい



務文教常任委員会で町側が希望地（飯豊中旧グラウンド跡地）として述べたものです。発言は重視すべきとして記載しました。

しかし、決定したような文章になり、誤解を招いたことはお詫びします。

みなさんと語る会

住宅団地で定住促進

定住支援策は

問 人口減少対策には支援が必要です。それには、住宅団地の造成や、C型肝炎・老人性肺炎対策も有効な手段と思えますがいかがでしょうか。

また、支援後の検証はしていますか。

答 中ノ目南団地は完売しました。安く提供するのも手段です。要望のある地区は、調査研究して進めるべきです。「いいですね条例」での支援もあり、町外に情報を積極的に発信したいと思います。Iターン就農者への小作料等の支援も必要と思っています。肝炎・肺炎対策は国の補助もありますが、肺炎球菌ワクチン接種

については、町独自の支援を再度働きかけます。

各種補助金や交付金の多くは、事後の検証を行っていません。議会として活用した方から、意見を聞き、取り組んでいきます。

子育て支援は

問 乳幼児施設の土・日利用料を安くし、子どもが遊べる場を増やして欲しいと思います。

また、病後時保育等の充実を図って下さい。一方、インフルエンザの予防接種に、時間のとれない中学生が多いと聞くので配慮をお願いします。

答 町側に相談してみます。土・日保育希望者等のアンケートをとったとのことですが、数字を把握しながら、提言していきます。

病後時保育は、一般質問でも取り上げましたが、実施に至っていません。実現にむけて、再度提言します。

予防接種は、関係医療機関へ、時間外接種を働きかけます。

どう対応、

介護保険

問 介護保険料、なぜ高くなるのですか。第6期の保険料の見直しはどのようになりますか。

答 他市町に比べ、施設の充足率が高くなっており、サービスが充実しています。



遊べる場所の確保を

しかしながら、低所得者層の被保険者が多いため、保険料を高く設定しなければなりません。6期の保険料については、5期での借入金償還も含む必要があり、2000円ぐらい高い設定になる見込みです。

みなさんと語る会

数々のご意見、いただきました。

ご叱責・励ましの言葉、ありがとうございました。

問 本日の語る会、いかがでしたか？

回答項目	回答数	構成比	昨年回答数	構成比
良かった	59	38.3%	68	54.0%
ふつう	78	50.6%	50	39.7%
良くなかった	5	3.3%	6	4.8%
無回答	12	7.8%	2	1.5%
合計	154	100.0%	126	100.0%

アンケートの結果

各会場で参加
いただいた皆様
のアンケート結
果を報告します。



語る会 会場

問 議会だより、お読みですか？

回答項目	回答数	構成比
毎号読む	98	63.6%
時々読む	49	31.8%
読まない	5	3.3%
無回答	2	1.3%
合計	154	100.0%



問 インターネットの議会中継をご覧になったことがありますか？

回答項目	回答数	構成比	昨年回答数	構成比
ある	37	24.0%	37	29.4%
ない	114	74.0%	86	68.2%
無回答	3	2.0%	3	2.4%
合計	154	100.0%	126	100.0%

多くの方に参加いただきました。

日程	開催場所	H26 参加者 数(人)	H25 参加者 数(人)	増減	内 訳				回答者 数(人)	回答率
					H26 男性	H25 男性	H26 女性	H25 女性		
11月7日	椿地区	15	10	5	15	10	0	0	15	100.0%
11月11日	小白川地区	19	9	10	18	9	1	0	17	89.5%
	手ノ子地区	25	22	3	23	20	2	2	23	92.0%
11月13日	中津川地区	10	19	△9	10	16	0	3	10	100.0%
	東部地区	17	21	△4	16	21	1	0	16	94.1%
11月15日	中地区	28	40	△12	23	19	5	21	24	85.7%
	菰生地区	17	13	4	17	13	0	0	17	100.0%
11月27日	高峰地区	14	13	1	14	12	0	1	13	92.9%
11月28日	黒沢地区	23	16	7	23	16	0	0	19	82.6%
合計		168	163	5	159	136	9	27	154	91.7%

希望塾やる気満々

総務文教常任委員会

各課からの報告

総務企画課

◆1月19日、再生可能エネルギー講演会が物産館で開催されます。

◆「30歳の成人式」が開催されます。新たな取組であり、町として支援していきます。

◆国保高額医療費及び高額介護合算療養費の自己負担限度額が見直しされました。

住民税務課

教育文化課

◆第一小学校の入札、21億8600万円(税抜)で樋口・那須・高橋共同企業体が落札しました。

◆中学生を対象に町営のいいで希望塾が開講します。

体験講座を開いたところ、133人の出席があり、生徒も意欲的でした。

質問と答弁

問 添川小学校の統合について、その後どうなっているのか。

答 2回の会合で様々な意見が出され、平成28年4月の統合と説明しました。その後、急

答 7月末に町長から統合方針を説明しまし

た。2回の会合で様々な意見が出され、平成28年4月の統合と説明しました。その後、急激な結論は良い結果を生まないと考え、十分

に議論をして結論を出していきます。

複式学級という実態もありますが、優れた子どもたちを良い環境で学ばせたいと思います。



体験講座の様子

問 第一小学校の入札で、9月と今回の予定価格の差はどれくらいあったのか。設計上大きく変わった点は何か。

答 春から資材価格と人件費等が10から15%上がりました。

工事の見直しは仕上げ材の内容、屋根材、隠れる部分の配管、外壁吹付、地下の型枠材のランクを下げる等に変更をしました。

経済情勢の変化があり、予測のつかない結果でありました。

問 町営スキー場の平成24・25年度の使用料はどれぐらいだったのか。

答 平成24年度130万円、25年度157万円です。利用者の大幅な増加は見込めません。

安全第一に、子どもの体力向上等、冬のスポーツの重要な施設です。各学校のスキー授業、親子スキー教室やスキー場感謝デーなど行事計画を組んで利用拡大を図っていきます。

東京都杉並区 高円寺純情商店街に チャレンジショップ オープン

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林振興課

◆米価下落対策緊急資金利子補給の件、1月7日現在、15件で1154万円の申込みがありました。

◆27年度つや姫作付け認定は、129戸160haです。

◆26年度生産資材等高騰緊急対策資金は、3月定例会に提案予定です。

商工観光課

◆プレミアム商品券発行状況は、11月22日から25日で完売。町外者購入割合は7・4%でした。

子育て応援パスポート保持者のうち、74世帯が購入しました。

地域整備課

◆積雪状況は12月11日現在、椿46cm、手ノ子47cm、下屋地77cmです。なお、除雪車の初出動は12月3日でした。

介護老人保健施設・国保診療所

◆置賜総合病院サテライト電子カルテが、1月1日より新システムへ更新になります。

◆次年度の中央診療所医師の配置は、まだ決まっています。

中津川診療所は、引き続き豊野・小川両先生にお願いすることが決まっています。

質問と答弁

問 つや姫を全員で作れないか。宮城県産米が安く売られていたが、県産米の価値が無くなるのでは。

答 県庁のブランド戦略課で慎重に対応しています。無条件で誰でも作付けはできないが、今後とも作付けの拡大を要望していきます。

問 工事の際、誘導員、信号機は設計に入っているのか。現場代理人が何ヶ所もかけもちしているが。

答 施工上必要であれば計上されています。同等の工程10km以内なら、現場代理人は2ヶ所までかけもちが可能です。



販路拡大を期待 (チャレンジ・ショップ)

問 高円寺ショップの経過と今後の予定、次年度に向けた考えは。

答 11月2日内覧会、同月29日に本オープンしました。29日から30

日の参加団体は2団体他6人。来場者数は300人を超えました。今後、月・火曜日を除き、11時から18時まで営業します。次年度以降も、物品出展者の増加を図り、毎年予算を計上し、継続したいと考えています。

臨時会

米価下落 独自の対策実現

第11回臨時会

10月31日、臨時会を開催し、一般会計補正予算、工事請負契約の一部変更について審査し、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

◆一般会計

1億962万円を追加し、73億904万円とするものです。補正の主なもの

- ・第一小学校改築事業 7835万円
 - ・ふるさと納税特典等費用 2022万円
 - ・商店等活性化事業費補助金 630万円
- 財源は、基金繰入7500万円、寄付金3000万円などを充てるものです。

◆工事請負契約の変更

・第一小学校校舎、解体工事契約金額を1億1232万円から1億1340万円に変更するものです。

第12回臨時会

11月28日、臨時会を開催し、専決処分の承認、条例の一部改正、一般会計・その他の会計補正予算について審査し、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

◆一般会計専決処分

680万円を追加し、73億9724万円と定めました。内容は、衆議院選挙費680万円、財源は全額県支出金です。

◆一部を改正する条例

・飯豊町一般職職員の給与に関する条例
人事院勧告に基づき、給与月額、勤勉手当及び医師の初任給調整手当等を改正するものです。

◆その他の補正予算

飯豊町国民健康保険特別会計他5特別会計並びに、水道事業会計補正予算の7会計の内容は、給与改定に伴う人件費の追加によるものです。

◆一般会計

飯豊町特別職の職員の給与に関する条例の人事院勧告及び一般職員の給与改定に伴い改正するものです。

1168万円を追加し、74億892万円とするものです。補正の主なもの

給与改定に伴う人件費1168万円、財源は地方交付税を充てるものです。

平成27年 第1回臨時会

1月16日、臨時会を開催し、一般会計補正予算、人事案件を審査し、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

◆一般会計

6087万円を追加し、74億7822万円とするものです。

補正の主なもの

- ・26年産米価下落対策支援事業 2150万円
- ・除雪事業 3000万円
- ・灯油購入費助成事業 200万円

人事

次の方を人権擁護委員に推薦することになりました。

氏名 伊藤 幸子
住所 飯豊町萩生



議員研修

今後の活動にどう活かす

議会自主研修会

社会保障が国の財政を圧迫

1月9日、例年開催している「議会自主研修会」をあゝすで開催しました。

午前中は、東北財務局山形財務事務所長佐藤和久氏より「我が国財政の現状と課題」と題して講演をいただきました。

税収の著しい伸びは見込めないうえ、社会保障費の増大が国の財政を圧迫しており、国民の負担は増すと予想されるということでした。

高付加価値をつけ日本一に

午後は、山形県農林水産部長の若松正俊氏から「山形らしい農林水産業の展開について」と題し、講演をいただきました。

米価下落が農家の意欲を損なうことが懸念されるので、県では、無利子融資制度等に対応しているとの説明がありました。

サクランボやラ・フランス等、日本一の生産物があるが、加工技術を高め、高い付加価値をつけることが不足しているので、総力で山形らしい取り組みを推進していくとのことでした。

財政と農業、両方とも本町にとって大事なことを勉強しました。

中央研修

地方創成はじめる

10月29・30日の両日、

県選出の国会議員に対し、町長と議員全員で陳情を行ってきました。

その際、総務省「地域力創造グループ」の職員4名から、地域創造事業の内容と過疎対策事業についてのお話を伺いました。

地域創造事業については、地域の資源と資金を活用して事業を起こし、地域経済の刷新を図り、活力ある地域経済を創出することが目的ですが、具体的な内容は検討中とのことでした。

また、過疎対策事業については、過疎地域の自立を図り、住民福祉の向上や雇用の増大等に結びつくよう、実

効性のある対策を講じていく必要があるとの話を聞きました。町議員研修が開催されました。

本町で、現在旧和光電気山形工場跡地に進めている山形大学工学部の研究所の設置について、過疎債の充当を要望してきました。

川西町議会と合同研修 日本は住みよい国

11月26日、川西町において、川西・飯豊両

川西町の若松工業(株)に勤務されているマレーシア出身のリチャード・チン氏から「マレーシアから見た日本」と題し講演をいただきました。

日本は、くだもの等食べ物がおいしいし、礼儀正しい人が多く、住みよい国だとの話を聞き、自国の良さを改めて見直すことのできた研修でした。



熱く語る農業政策
(県農林水産部長)

置賜はひとつ

一部事務組合議会報告



汚泥再生処理センター 完成
(長井クリーンセンター内)

置賜広域行政事務組合

平成26年11月26日定例会
 を開催し、25年度決算3件、
 条例・補正予算等、計8件
 を審査し、いずれも原案の
 とおり可決しました。

一般会計決算は、歳入46
 億2035万円、歳出45億
 2681万円、翌年度へ繰
 越す財源が2061万円で、
 実質収支額7293万円と
 なりました。

主な事業は、長井クリー
 ンセンターの老朽化に伴う
 汚泥再生処理センターの建
 設、千代田クリーンセン
 ター焼却施設改良や、最終
 処分場整備事業等です。

特別会計では、婚活事業
 や、置賜3市5町から出店
 した「おきたま八食祭」の
 開催等が主なものです。

西置賜広域行政事務組合

12月19日臨時会を
 開催し、条例の一部
 改正1件、一般会計
 補正予算を審査し、
 いずれも原案のとおり
 可決しました。

また12月11日消防
 飯豊分署にタンク付
 き消防車が配備され
 ました。1トン半の

水タンクと500ℓ
 の消火液タンクを載
 せた最新鋭の消防車
 です。初期消火や油
 火災に大きな役割を
 果たすものと期待さ
 れます。

私たちの安全安心
 が高まりました。

置賜広域病院組合

平成25年度、病院
 事業会計決算と26年
 度補正予算を審査し、
 いずれも原案のとおり
 可決しました。

前年度と同じく、
 患者数は減少したも
 のの、診療収入単価
 が増加し、また、医
 業費用は人件費の給
 与改定により減少し
 たが、薬品費や診療
 材料費で増加しまし

た。医業損失額(前
 年度比1億213万
 円減少)は高水準に
 あるが、経営努力が
 反映された結果であ
 り、おおむね適正の
 監査意見でした。

次年度から構成団
 体の負担金算定が総
 務省操出基準方式に
 変更されることを、
 各市町議会に説明さ
 れました。

編集後記

昨年末からの大雪に
 は誰もが音をあげたも
 のと思われます。

屋根の雪おろし、玄
 関前の雪払い、朝を迎
 えるのが恐ろしくさえ
 思える日が何回あった
 ことか。

言いたくはないが体
 力の衰えを隠しきれま
 せん。

あと、ひと月の辛抱
 でしょうか。

(船山 記)

発行責任者	議長	委員	副委員長	委員
中村 仁一	中村 仁一	長沼 安義	菅野富士雄	長沼 桂子
				山口 文隆
				中村 仁一
				船山 清一